

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	10	19	水	13:00	15:15	農村センター	4
活動名称	アメリカザリガニ基調講演会					報告者：小沼	

<活動目的>

アメリカザリガニは鶴ヶ島市内でも蔓延している現状を踏まえ、駆除する方向で取り組む場合、どのような課題があるのか共通認識を図る必要があるため専門家による基調講演会を開催し、その生態を知るとともに、具体的な駆除方法等について協議した。

<主な活動内容>

- 鶴ヶ島の自然を守る会に所属する佐々木英世氏による「アメリカザリガニ駆除大作戦」の講演を1時間開催した。
 - ・生物多様性とは ・外来生物とは ・アメリカザリガニの生態（主に環境庁資料）
 - ・アメリカザリガニの試食会
- 当方よりアメリカザリガニの駆除方法の考え方、手法等の説明（別添参照）
 - ・生物多様性の保全活動の一環 ・ホタル定着化へむけて
- 主な意見
 - ・子供のころから親しんできた身近なアメリカザリガニを駆除する必要性は。
 - ・アメリカザリガニの被害は全国的に増えており、アメリカザリガニを駆除する組織は、全国で令和2年、44団体ある。（埼玉県に1団体）
 - ・捕獲したアメリカザリガニを高坂こども動物自然公園の餌として提供することはどうか。
 - ・中国では食材としてアメリカザリガニは人気が高い。
 - ・クックパッドにアメリカザリガニのレシピが12例掲載されている。
 - ・これからの時期、アメリカザリガニは冬眠に入るので来年の産卵する6月前に集中的に駆除するのが効率的である。
 - ・アメリカザリガニは夜行性であるので捕獲時間は、夜にモンドリ網を入れ、翌日に引き上げて捕るのがよい。

<出席者>

市役所2名（生活環境課、都市計画課）、大谷川源流の会2名、鶴ヶ島の自然を守る会2名、フラワーフレンズ太田ヶ谷1名、里山サポートクラブ4名 計11名

<課題・評価>

太田ヶ谷の森は開園2年目であり、アメリカザリガニによる水性動植物の被害はまだ危機的状況にないと思われるが、今後、ビオトープ・蓮池等でアメリカザリガニを駆除する必要性は共通認識できた。ただし、アメリカザリガニはどこにでもいる身近な存在であることから、特に駆除後の処理についてどのようにしていくか検討課題である。

<里山参加会員>

小澤邦、杉山（司会）、脇谷、小沼

<活動写真>

